

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-2 消防防災対策の推進
---------	-------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	河川課長 田中 悟	電話番号	0852-22-5195
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	水質事故対策		
目的	(1) 対象	河川流域や海岸沿岸域の居住者及び一般県民	
	(2) 意図	水質事故に対して迅速で正確な対応を行い、流域住民等の被害を最小限とする。	
事業概要	水質汚濁防止連絡協議会を開催し、水質事故発生時の連絡・協体制の強化を図る。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			水質事故早期処理率	2日以内に処理を完了した件数/水質事故発生件数×100	目標値	67.20	70.00	70.00	70.00
			実績値	68.30	56.40	50.90			
			達成率			72.80			%
	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値						
			実績値						
			達成率						%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	212	624
うち一般財源 (千円)	212	624

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

早期処理の目標値は概ね達成できた。
 なお、3日以上かかった事案は、原因究明に時間を要したものや、処理終了に慎重を期したものがほとんどである。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

原因究明に時間を要したものや、処理終了に慎重を期したものはあったが、早期処理の目標値は概ね達成できた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ③原因を解消するための「課題」

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）